

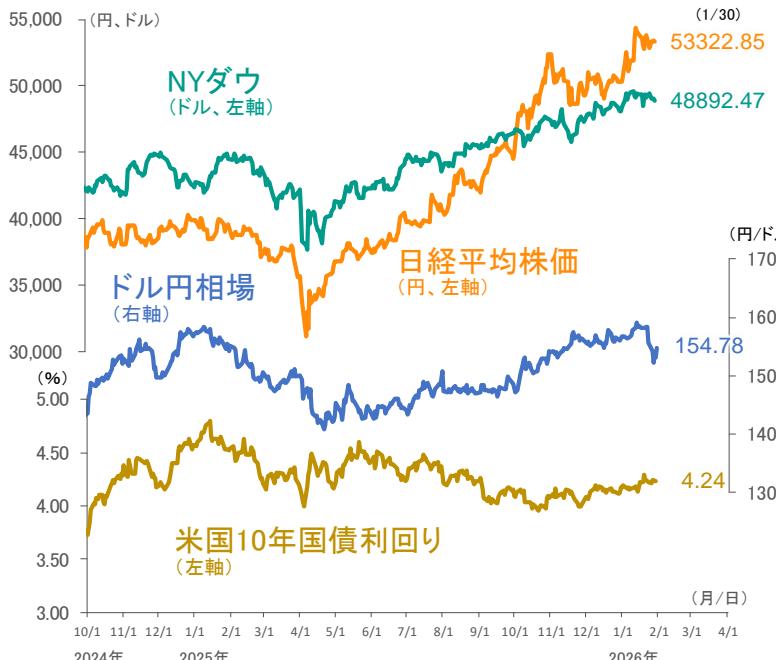
マーケット・レポート Weekly Guide

2026.2.2

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご視聴いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

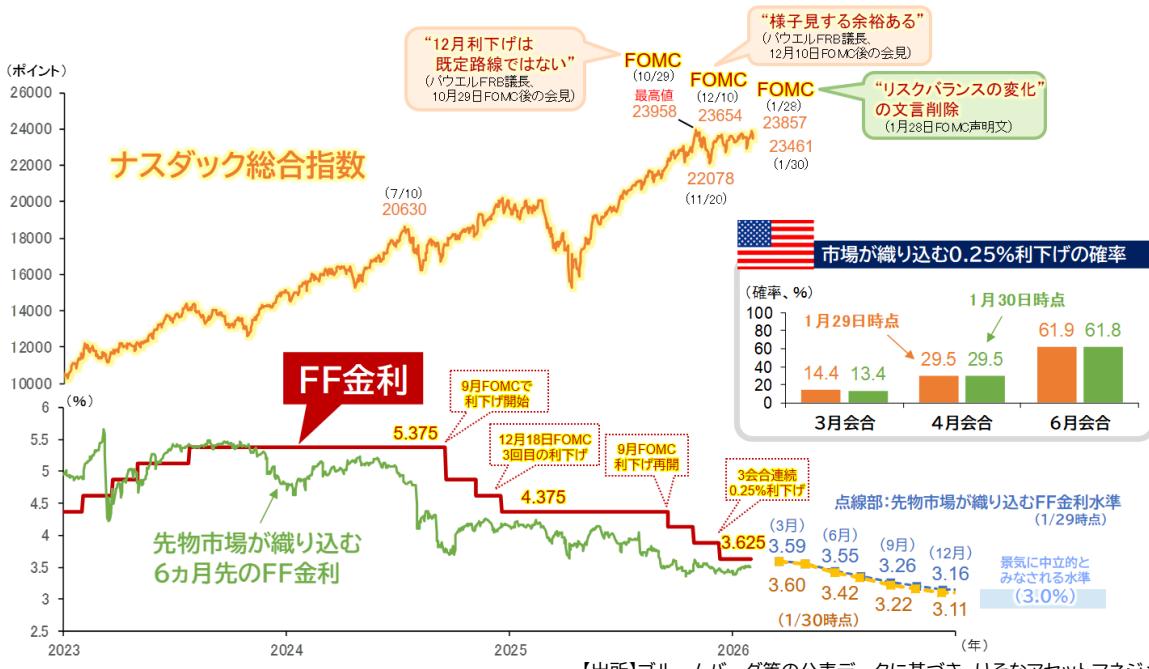
先週は、FOMC（米連邦公開市場委員会）で当面金利据え置きが示唆されたことや、次期FRB議長に候補者の中では利下げに消極的とみられていました。ケビン・ウォーシュ元FRB理事が指名されたことから、株式・債券とともに上値の重い展開となりました。週間では、NYダウ▲0.4%、NASDAQ総合指数▲0.2%、独DAX指数▲1.5%、日経平均株価▲1.0%となりました。10年国債利回りは米国が前週末比+1bpの4.24%、ドイツは同▲6bpの2.84%、日本は同▲1bpの2.25%で終わりました。為替市場では円相場安定に向けた日米協調の思惑から、一時1ドル=152円台まで円高・ドル安が進み、週末は154円70銭台で引けました。今週、海外では米雇用関連指標と主要企業の決算発表が注目材料となります。また、FRB新議長指名を巡る米議会の反応が注目されます。国内では、日銀公表の「1月決定会合の主な意見」から、次回利上げ時期を探ることになります。

当面の注目イベント

- ◆日・1月決定会合の主な意見 (2日)
 - ★米・1月ISM製造業景況指数 (2日)
 - ◆米・JOLTS(求人件数) (3日)
 - ◆グローバル・1月総合PMI (4日)
 - ◆米・1月雇用統計 (6日)
- ～日・米主要企業10-12月決算発表～
村田製作所(2日)、任天堂(3日)、アルファベット(4日)、
NTT、アマゾン(5日)、トヨタ自動車、東京エレクトロン(6日)

★：りそな景気先行指数関連指標

トランプ大統領はケビン・ウォーシュ元FRB理事を次期FRB議長に指名しました。先物市場が織り込む0.25%の利下げ確率をみると、新議長就任後最初の会合となる6月FOMCは61.8%と前日の61.9%からほぼ変わらずです



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

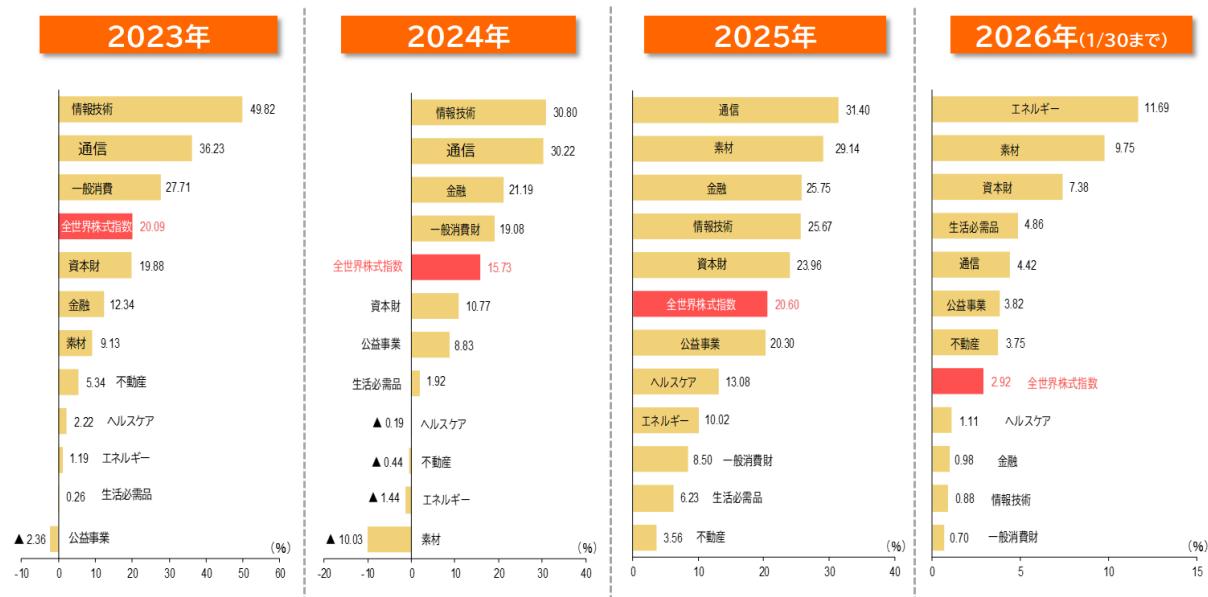
※最終ページの「当資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

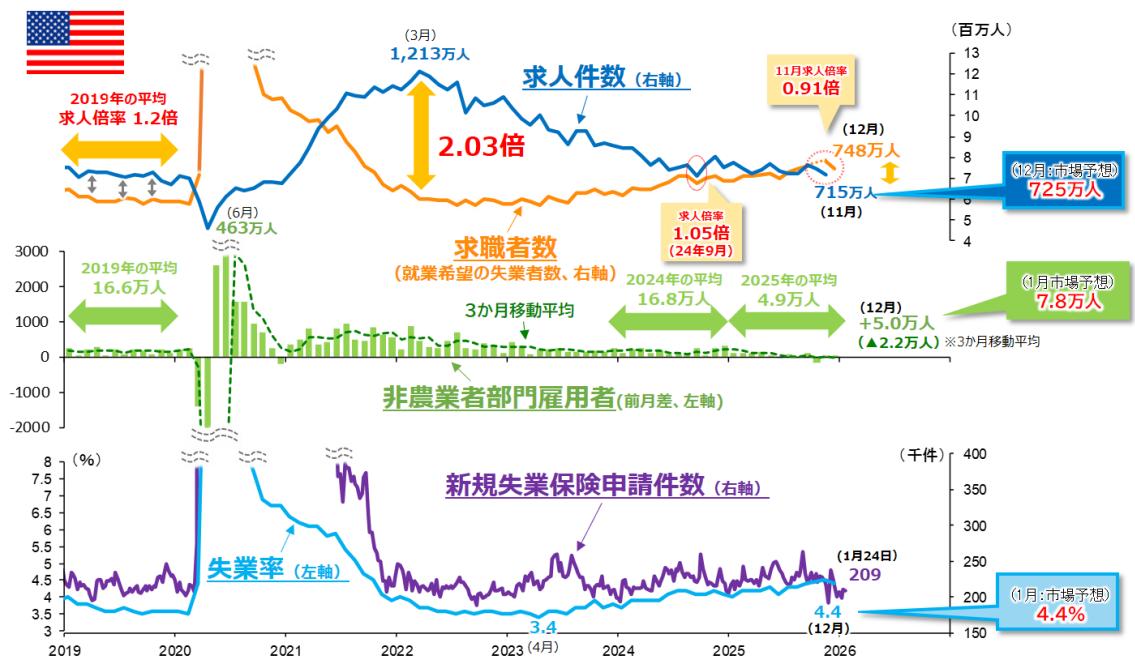
RESONA

世界株価の業種別指数の1月騰落率では、「素材」、「エネルギー」、「資本財」など景気敏感で割安株銘柄の比重が高い業種が上位となる一方、成長株中心の「情報技術」は市場平均を下回っています



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

今週発表の12月米求人人数は725万人、非農業部門雇用者数は+7.8万人、失業率は前月同様4.4%が予想されています。予想通りの内容となれば、FRBは当面利下げ見送りを継続との見方が一段と強まるとみられます



【出所】BLS、Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年2月9日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。